参考資料④

オープンハウス型説明会等意見聴取の集計

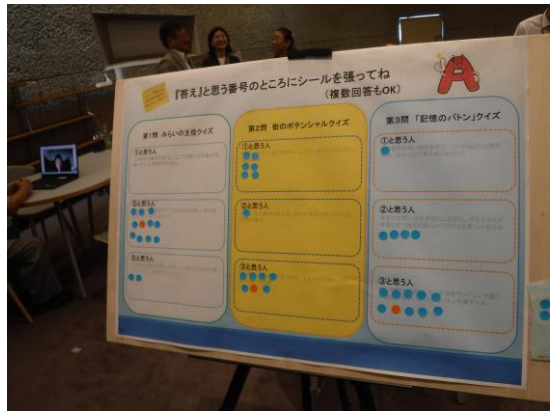
令和８年9月18日　伊賀市産業農林部中心市街地課作成

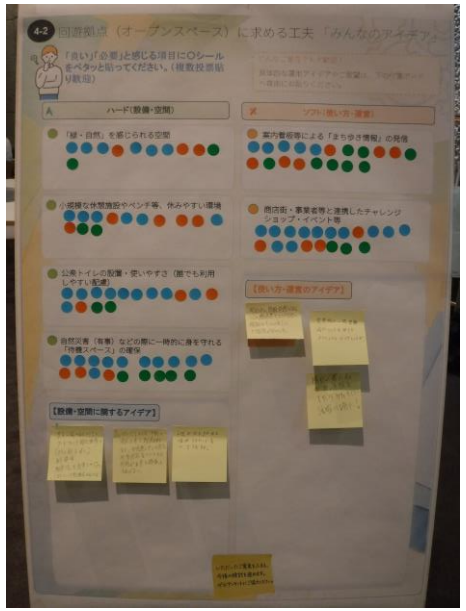
旧上野ふれあいプラザ跡地活用アンケート結果

８月４日オープンハウス型説明会（旧上野市庁舎 SAKAKURA BASE）









８月５日オープンハウス型説明会
（伊賀市役所１階）



８月18日オープンハウス型説明会
（ハイトピア伊賀１階）



実施手法と集計について

○調査目的及び手法

旧上野ふれあいプラザ跡地の活用に関する意見を把握するため、オープンハウス型説明会、パネル展示、WEBフォームでアンケート調査を実施

○調査目的及び手法

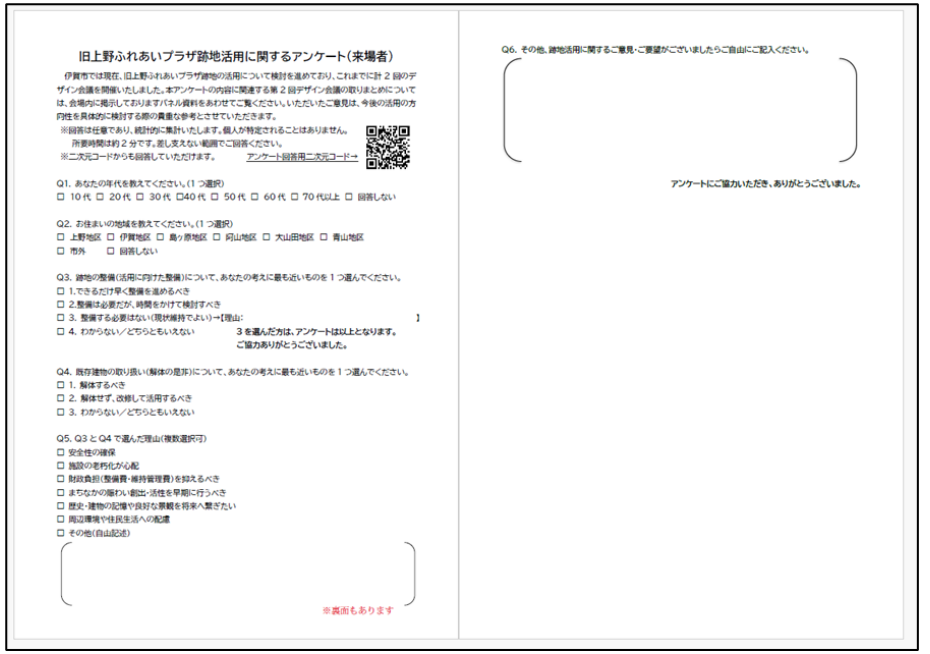
旧上野ふれあいプラザ跡地の活用に関する意見を把握するため、オープンハウス型説明会、パネル展示、WEBフォームでアンケート調査を実施

○調査項目

①オープンハウス型説明会、パネル展示

シール投票（複数回答）：2項目（求める空間【ハード】・機能【ソフト】）

アンケート：2項目（整備の必要性、既存建築物の取扱い）



旧上野ふれあいプラザ跡地活用に関するアンケート（来場者）

伊賀市では現在、旧上野ふれあいプラザ跡地の活用について検討を進めており、これまでに計２回のデザイン会議を開催いたしました。本アンケートの内容に関連する第２回デザイン会議の取りまとめについては、会場内に掲示しておりますパネル資料をあわせてご覧ください。いただいたご意見は、今後の活用の方向性を具体的に検討する際の貴重な参考とさせていただきます。

※回答は任意であり、統計的に集計いたします。個人が特定されることはありません。
所要時間は約２分です。差し支えない範囲でご回答ください。
※二次元コードからも回答していただけます。　アンケート回答用二次元コード→

Q1. あなたの年代を教えてください。（1 つ選択）
□ 10 代 □ 20 代 □ 30 代 □40 代 □ 50 代 □ 60 代 □ 70 代以上 □ 回答しない

Q2. お住まいの地域を教えてください。（1 つ選択）
□ 上野地区 □ 伊賀地区 □ 島ヶ原地区 □ 阿山地区 □ 大山田地区 □ 青山地区
□ 市外 □ 回答しない

Q3. 跡地の整備（活用に向けた整備）について、あなたの考えに最も近いものを１つ選んでください。
□ 1.できるだけ早く整備を進めるべき
□ 2.整備は必要だが、時間をかけて検討すべき
□ 3. 整備する必要はない（現状維持でよい）→【理由：　　】
□ 4. わからない／どちらともいえない

３を選んだ方は、アンケートは以上となります。
ご協力ありがとうございました。

Q4. 既存建物の取り扱い（解体の是非）について、あなたの考えに最も近いものを１つ選んでください。
□ 1. 解体するべき
□ 2. 解体せず、改修して活用するべき
□ 3. わからない／どちらともいえない

Q5. Q3 と Q4 で選んだ理由（複数選択可）
□ 安全性の確保
□ 施設の老朽化が心配
□ 財政負担（整備費・維持管理費）を抑えるべき
□ まちなかの賑わい創出・活性を早期に行うべき
□ 歴史・建物の記憶や良好な景観を将来へ繋ぎたい
□ 周辺環境や住民生活への配慮
□ その他（自由記述）

※裏面もあります

Q6. その他、跡地活用に関するご意見・ご要望がございましたらご自由にご記入ください。

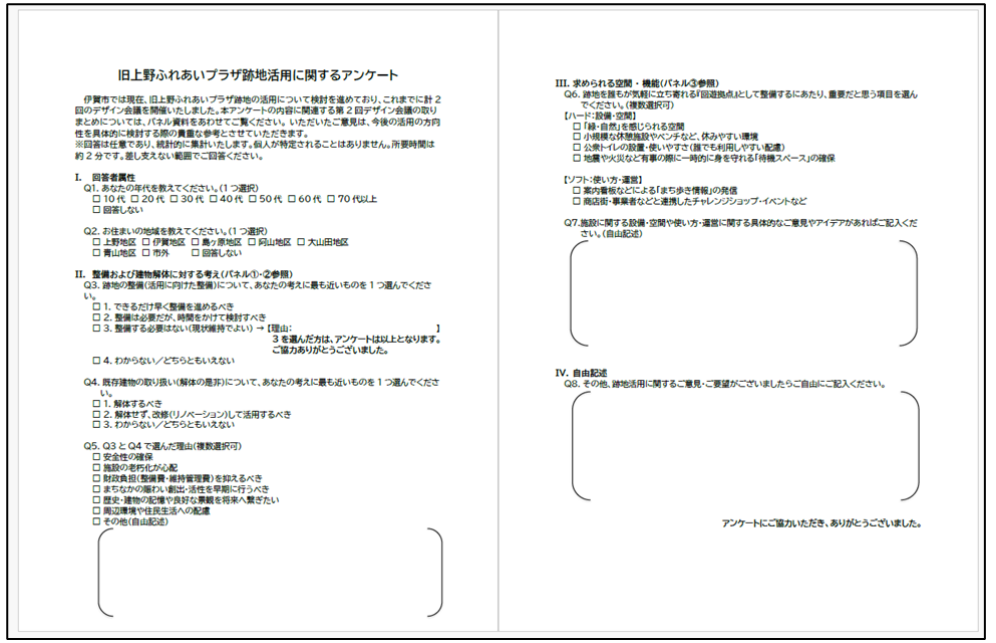
アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

実施手法と集計について

○調査項目

②WEBフォーム

アンケート：４項目（整備の必要性、既存建物の取扱い、求める空間【ハード】・機能【ソフト】）



旧上野ふれあいプラザ跡地活用に関するアンケート

伊賀市では現在、旧上野ふれあいプラザ跡地の活用について検討を進めており、これまでに計２回のデザイン会議を開催いたしました。本アンケートの内容に関連する第２回デザイン会議の取りまとめについては、パネル資料をあわせてご覧ください。いただいたご意見は、今後の活用の方向性を具体的に検討する際の貴重な参考とさせていただきます。
※回答は任意であり、統計的に集計いたします。個人が特定されることはありません。所要時間は約２分です。差し支えない範囲でご回答ください。

I. 回答者属性
Q1. あなたの年代を教えてください。(１つ選択)
□ 10代 □ 20代 □ 30代 □ 40代 □ 50代 □ 60代 □ 70代以上
□ 回答しない

Q2. お住まいの地域を教えてください。(１つ選択)
□ 上野地区 □ 伊賀地区 □ 島ヶ原地区 □ 阿山地区 □ 大山田地区
□ 青山地区 □ 市外 □ 回答しない

II. 整備および建物解体に対する考え(パネル①-②参照)
Q3. 跡地の整備(活用に向けた整備)について、あなたの考えに最も近いものを１つ選んでください。
□ 1. できるだけ早く整備を進めるべき
□ 2. 整備は必要だが、時間をかけて検討すべき
□ 3. 整備する必要はない(現状維持でよい) → [理由:]
3を選んだ方は、アンケートは以上となります。
ご協力ありがとうございました。
□ 4. わからない／どちらともいえない

Q4. 既存建物の取り扱い(解体の是非)について、あなたの考えに最も近いものを１つ選んでください。
□ 1. 解体するべき
□ 2. 解体せず、改修(リノベーション)して活用するべき
□ 3. わからない／どちらともいえない

Q5. Q3とQ4で選んだ理由(複数選択可)
□ 安全性の確保
□ 施設の老朽化が心配
□ 財政負担(整備費・維持管理費)を抑えるべき
□ まちなかの賑わい創出・活性を早期に行うべき
□ 歴史・建物の記憶や良好な景観を将来へ繋ぎたい
□ 周辺環境や住民生活への配慮
□ その他(自由記述)

III. 求められる空間・機能(パネル③参照)
Q6. 跡地を誰もが気軽に立ち寄れる「回遊拠点」として整備するにあたり、重要だと思う項目を選んでください。(複数選択可)
【ハード：設備・空間】
□ 「緑・自然」を感じられる空間
□ 小規模な休憩施設やベンチなど、休みやすい環境
□ 公衆トイレの設置・使いやすさ(誰でも利用しやすい配慮)
□ 地震や火災など有事の際に一時的に身を守れる「待機スペース」の確保

【ソフト：使い方・運営】
□ 案内看板などによる「まち歩き情報」の発信
□ 商店街・事業者などと連携したチャレンジショップ・イベントなど

Q7. 施設に関する設備・空間や使い方・運営に関する具体的なご意見やアイデアがあればご記入ください。(自由記述)

IV. 自由記述
Q8. その他、跡地活用に関するご意見・ご要望がございましたらご自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

○集計方法

・各手法・各項目の特性に応じて集計を行う。

統計学的補正は行わない。

○その他

・本調査は、統計的な代表値を算出するものではなく、意見の傾向を把握するための調査

○回答数　434件

【開催日等】

・オープンハウス及びパネル展にてアンケート調査を実施

〇オープンハウス型説明会
・令和8年8月4日(火) 旧上野市庁舎SAKAKURABASE 学習・集会室
・令和8年8月5日(水) 伊賀市役所1階 市民スペース
・令和8年8月18日(火) ハイトピア伊賀1階 エントランスホール

〇パネル展
・令和8年8月5日(水)～9月4日(金) 旧上野市庁舎 SAKAKURA BASE1階
・令和8年8月5日(水)～8月18日(火) 伊賀市役所1階 市民スペース
・令和8年8月19日(水)～9月4日(金) 伊賀市役所3階 中心市街地課

・Webパネル展・アンケート調査

令和8年8月4日(火)～9月4日(金)

【回答数】

8/4　旧上野市庁舎
SAKAKURABASE
オープンハウス

49件

来場者数　73人

8/5　市役所1階
市民スペース
オープンハウス

53件

来場者数　55人

合計434件

8/18　ハイトピア
伊賀1階
エントランス
オープンハウス

24件

来場者数　32人

8/5～9/4
パネル展

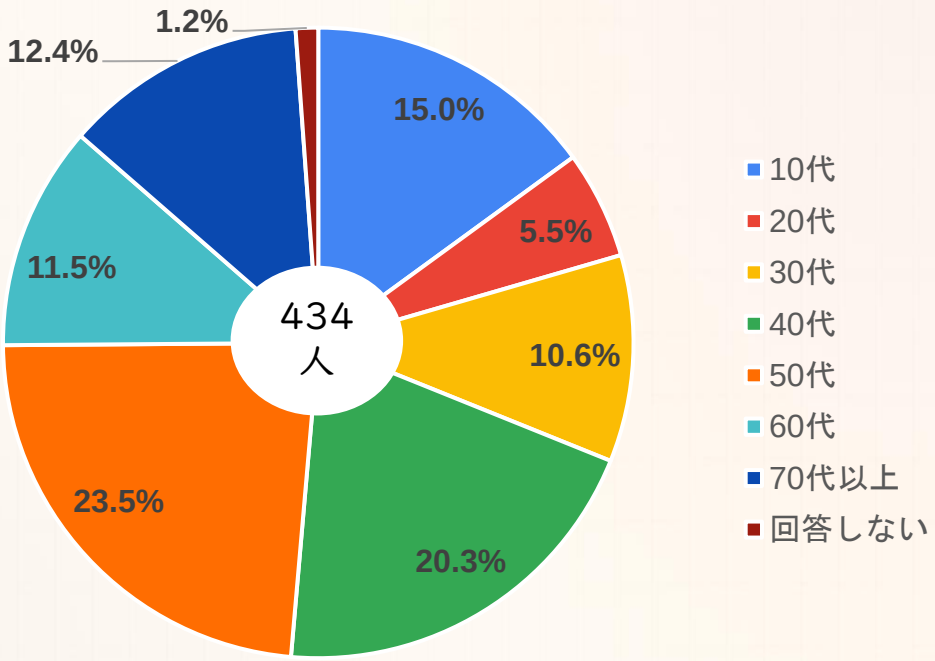
58件

8/4～9/4
WEBパネル展

250件

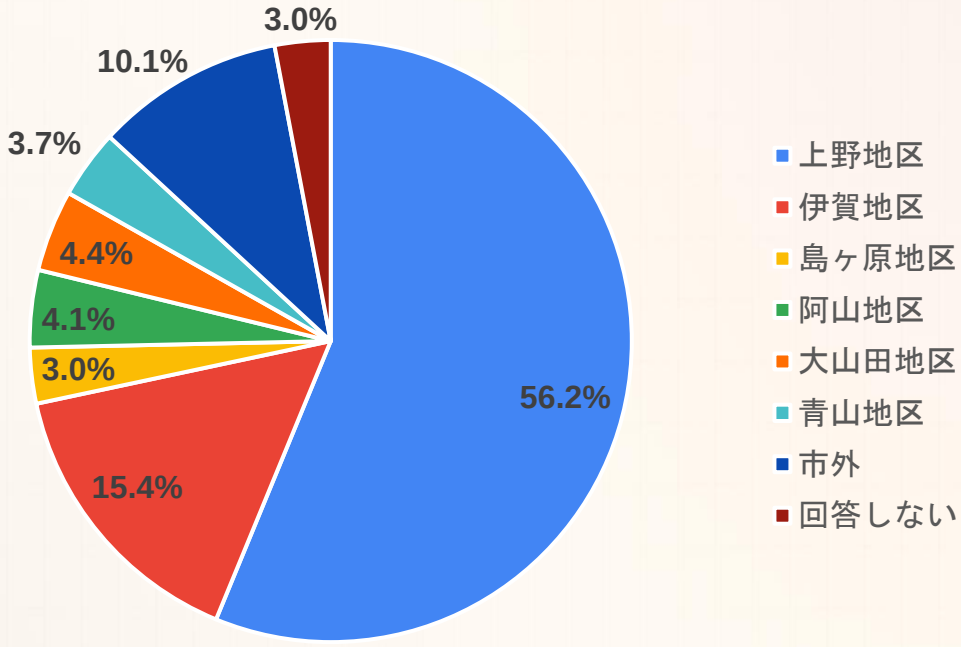
回答者の属性

年齢



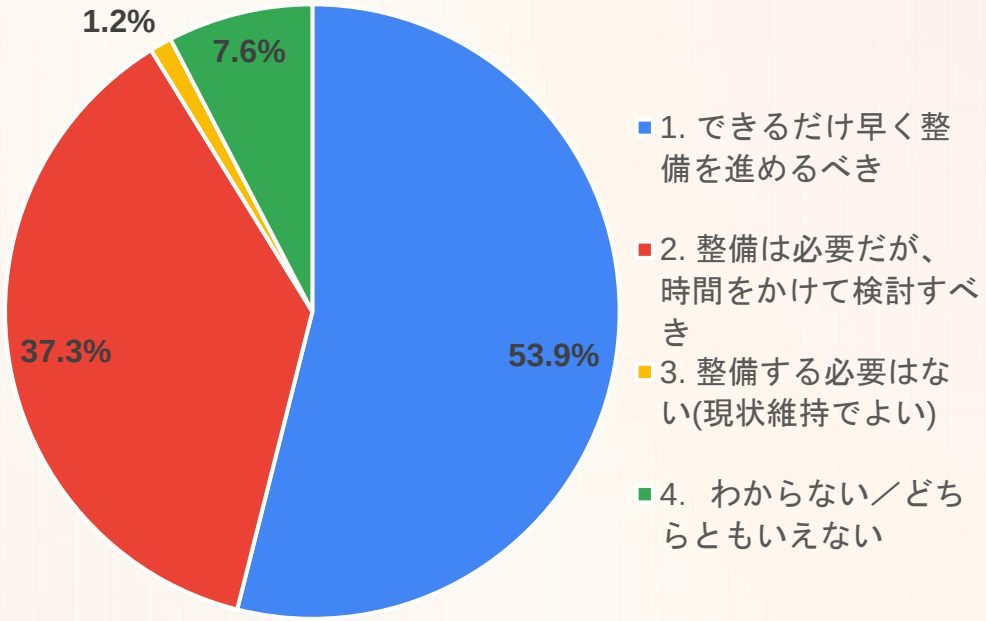
・最も多いのは40代と50代
・40～50代と10代の回答が多く、20代の回答が最も少ない

地域



・上野地区が56.2%を占める
・伊賀市全域から回答を得た
・市外の回答者も一定数いる

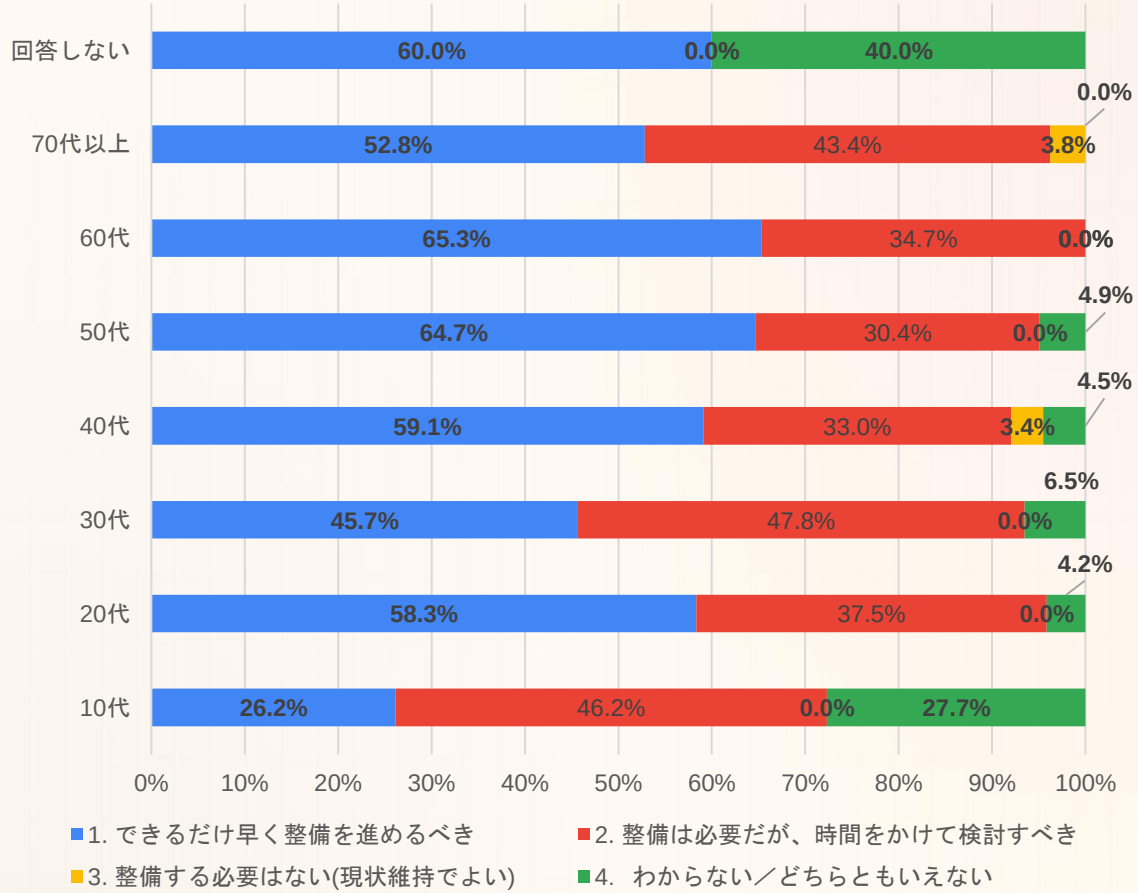
跡地整備の必要性について



・91.2%が「整備が必要」と回答

・うち、37.3%が「整備は必要だが時間をかけて検討すべき」と回答

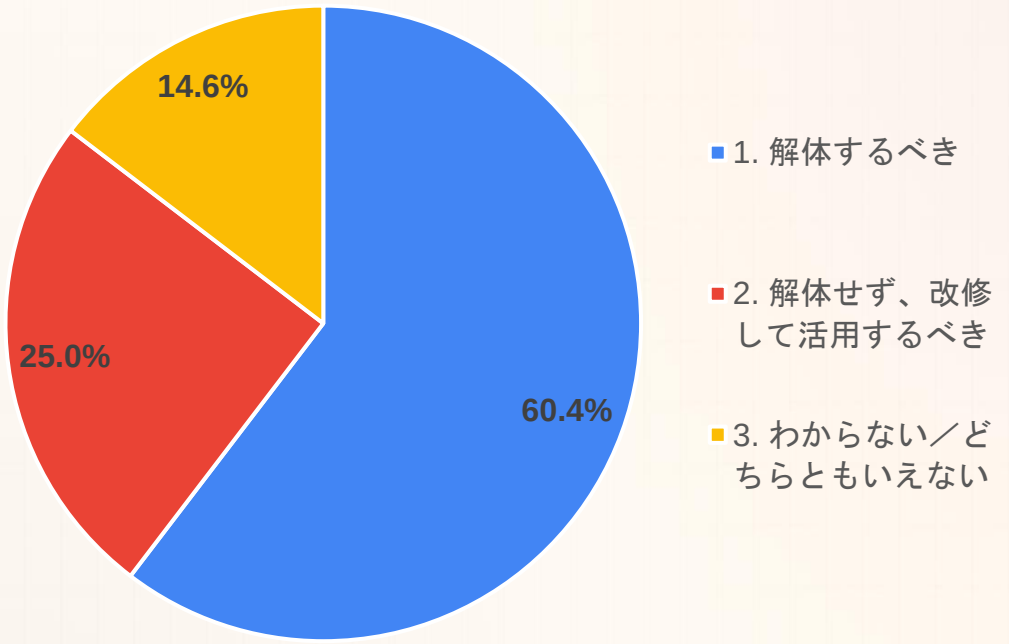
跡地整備の必要性について×年代



・跡地の利活用に関して10代は、26.2%が「できるだけ早く」、46.2%が「時間をかけて」と回答

・10代、30代を除いた年齢層は50%以上が「できるだけ早く」と回答

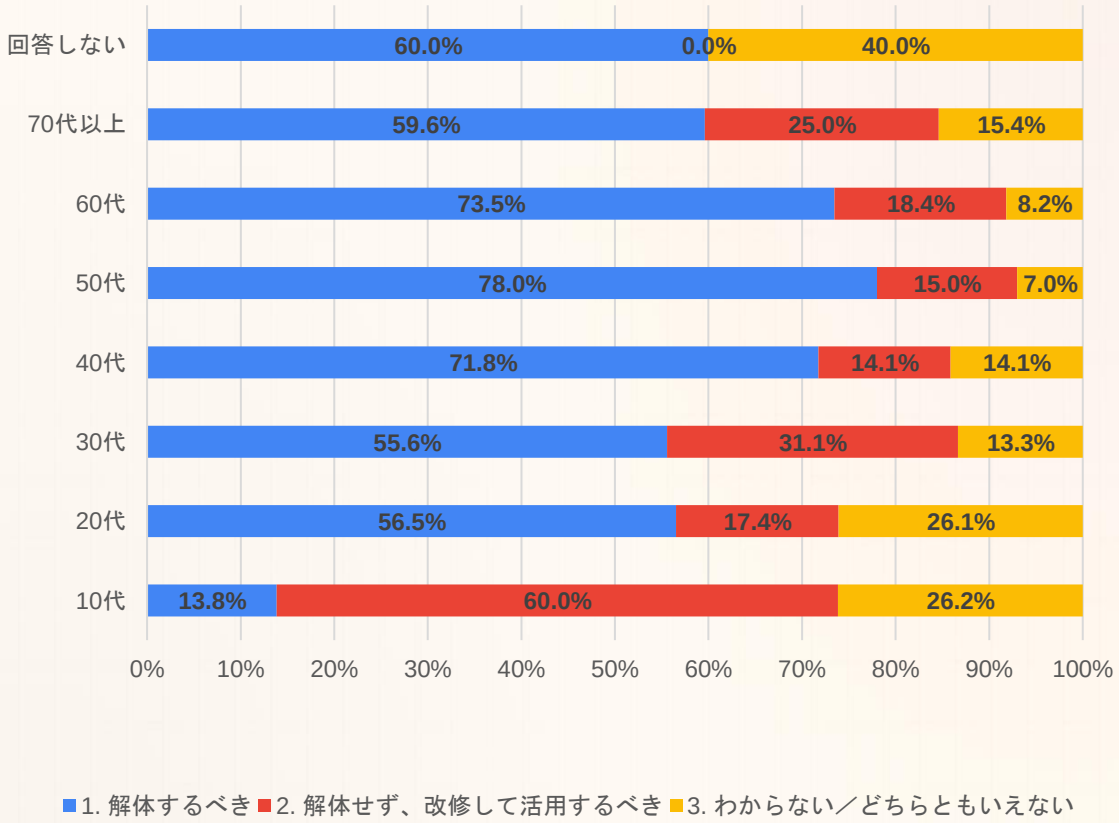
既存建物の取扱い



・60.4%が「解体するべき」と回答

・25.0%が「解体せず、改修して活用」と回答

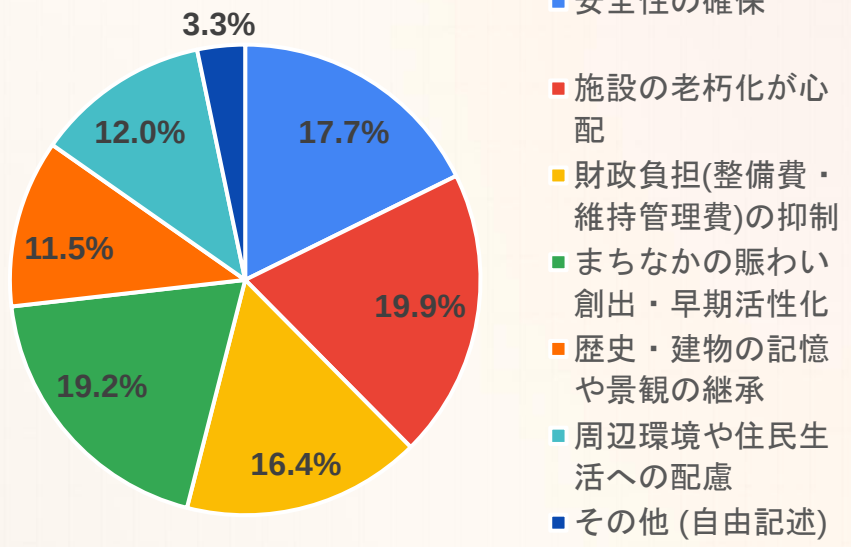
既存建物の取扱い×年代



・20代以上は半数以上が「解体するべき」と回答

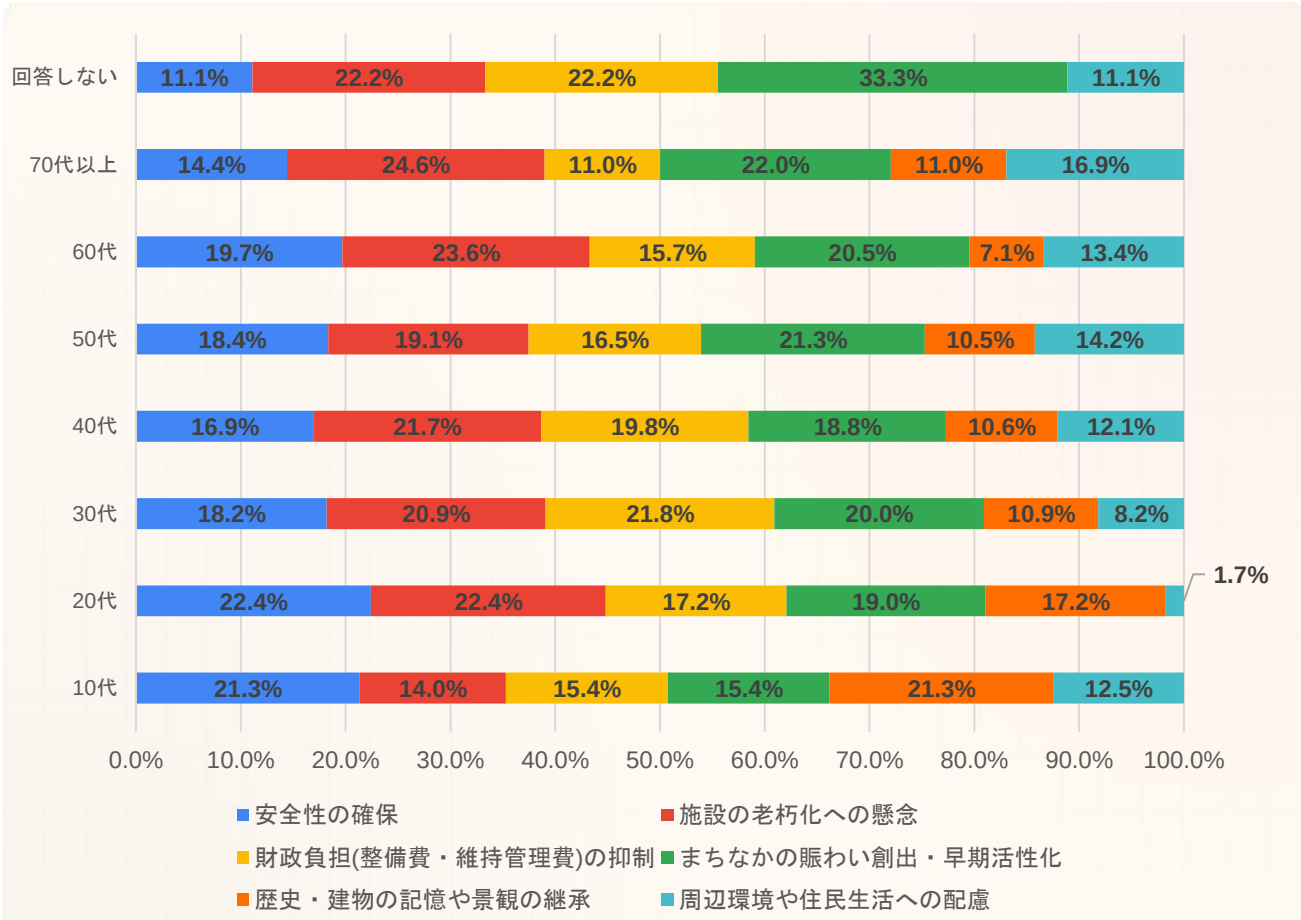
・10代は60%が「解体せず、改修して活用」と回答

整備が必要と考える理由（複数選択）



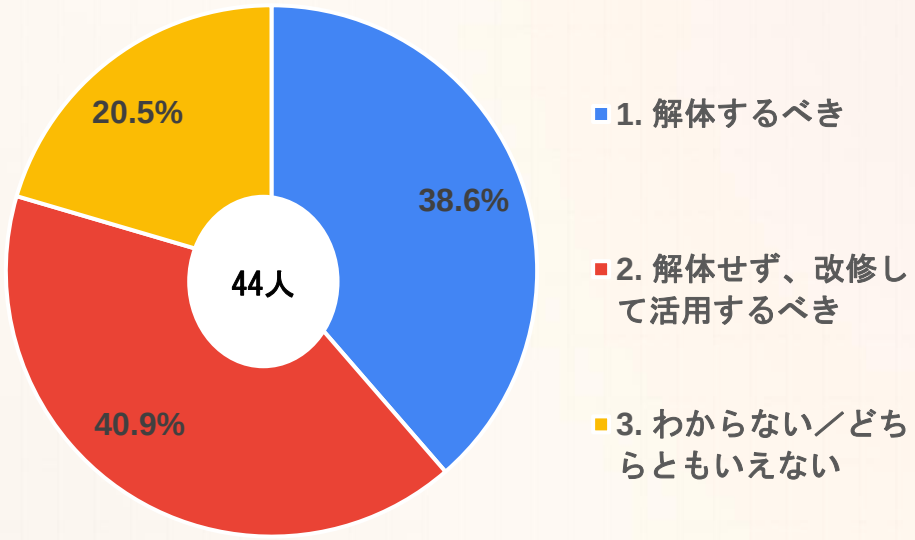
・整備が必要な理由として「安全性の確保」「老朽化が心配」「財政負担の抑制」「まちなか賑わい創出」の回答が多い

跡地整備が必要と考える理由×年代

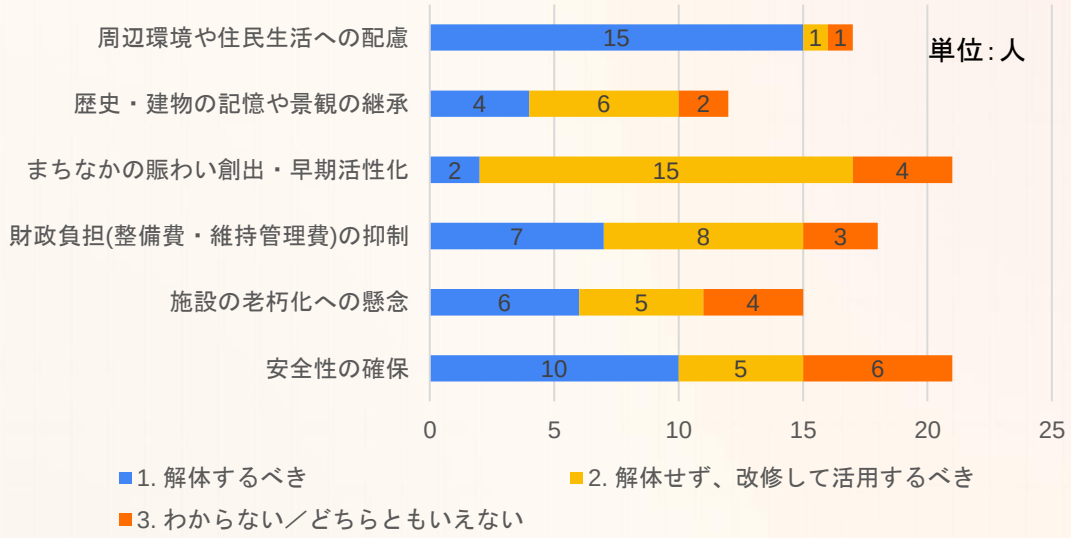


・「跡地整備が必要と考える理由」の回答割合は、全年代で同じ傾向がみられる。

市外の方の回答



・既存建物の取扱いについて、「解体（38.6%）」と「改修・活用（40.9%）」の意見は拮抗している。
・「わからない・どちらともいえない」とする層が20.5%存在する。

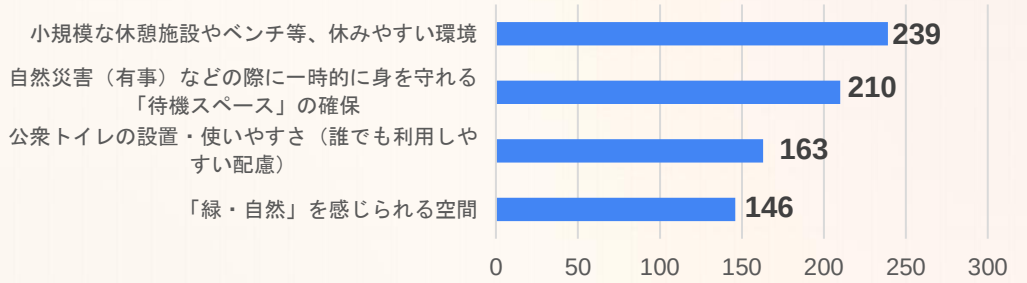


○「改修・活用」を支持する意見（　　）
・「歴史的記憶や景観の継承」「まちなか賑わいの創出」といった、当該建物の文化的・経済的価値を重視する意見がある。
○「解体」を支持する層　（　　）
・「周辺環境への配慮」「老朽化への懸念」「安全面」といった、物理的・環境的なリスクの解消を優先する意見がある。

求める空間【ハード】・機能【ソフト】（複数選択）

求める空間【ハード】

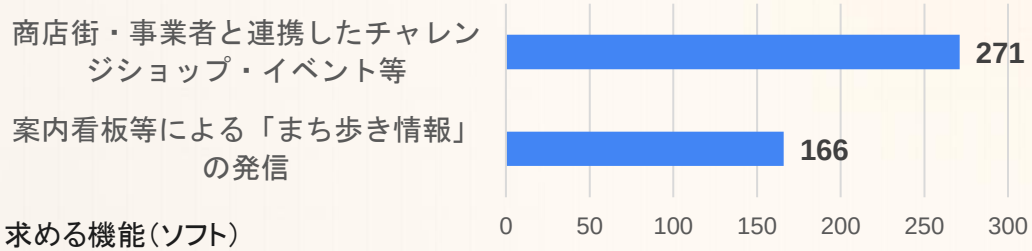
単位：人



求める空間（ハード）

・「小規模な休憩施設やベンチ等」「休みやすい環境」「災害時の「待機スペース」が望まれている

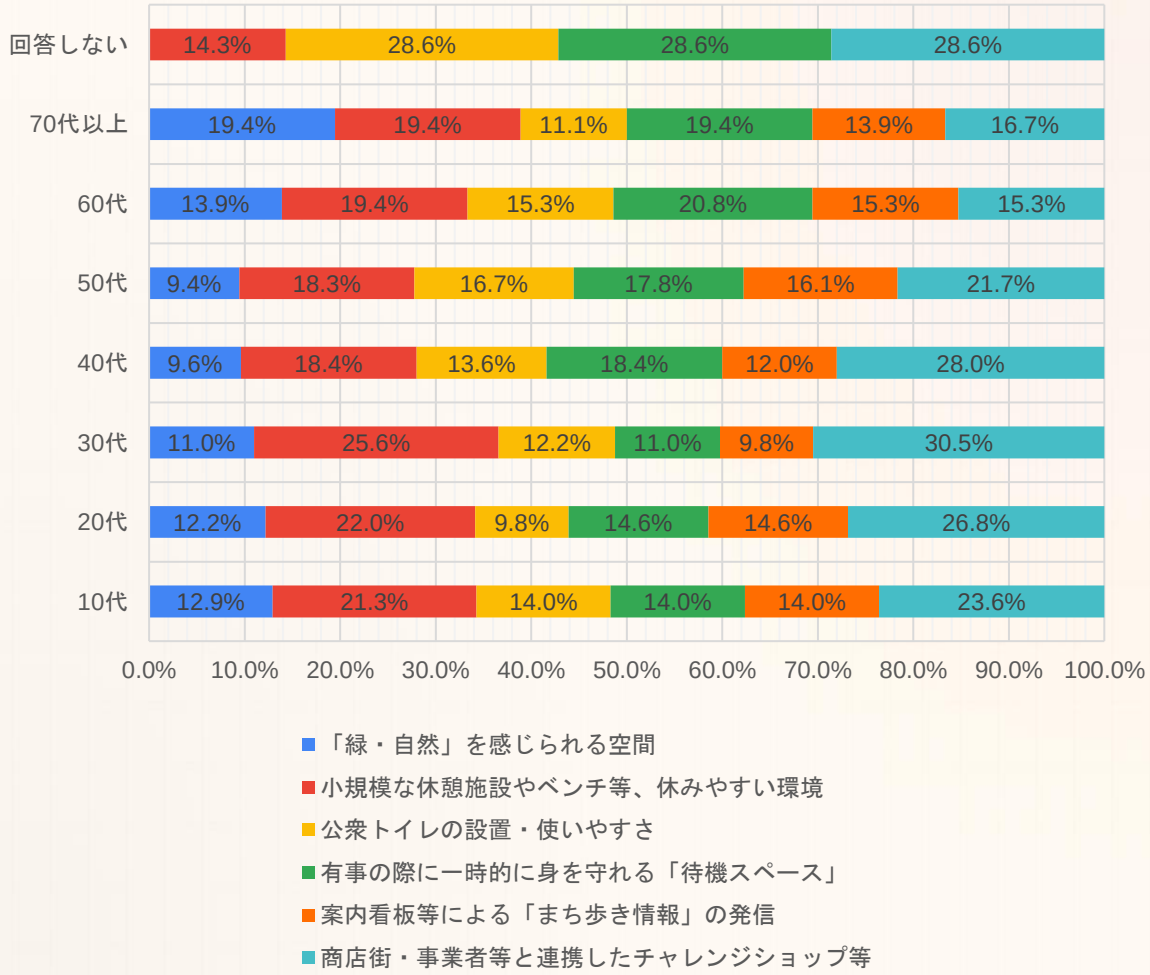
機能【ソフト】



求める機能（ソフト）

・チャレンジショップを行うことができる機能が望まれている

望まれている「空間」「機能」×年代



アンケートにおける空間に関するアイデア（ハード面）【要約】

○広場・憩い空間

屋根付き芝生広場、風が吹き抜ける庭、親水空間、木陰やベンチ、子どもが遊べるゆったりした空間（木育施設・屋内キッズパーク）

○文化・交流施設

おしゃれなカフェ、全天候型の交流施設、野外ステージ（屋根付き）、小規模劇場・ホール（200席程度）、展示スペース

○利便性・衛生施設

きれいなトイレ、オムツ替え・授乳などができるスペース、駐輪場、駐車場の充実

○防災・インフラ

災害時に立寄りできる場所、暑さ・寒さをしのげる空調の効いた室内空間

アンケートにおける使い方・運営に関するアイデア（ソフト面）【要約】

〇にぎわい・商業

チャレンジショップ・スタートアップ支援、地元の商店（お惣菜・パン・特産品）が集まる場所、キッチンカーの活用

〇回遊・観光

観光客と市民が交流できる拠点、伊賀焼や街のストーリーが表現・体験できる場、回遊ルートへの情報発信拠点

〇市民参加・運営

障がい者や若者の活躍の場、運営への市民参加（ボランティア等）、民間ノウハウの活用、持続可能な経営スキーム

〇防災・地域貢献

災害時の一時立寄り・防災機能、託児所機能、買い物支援など生活者の利便性向上

〇多様なソフト展開

子どものダンス教室、文化祭や発表会の開催、図書館と連携した滞在型スペース

その他、意見（自由記載）【要約】

1、生活利便性の向上を求める意見
（地域住民の日常生活の不便さ（買い物難民・高齢者の移動困難）を解消するための施設を求める声です。）

【スーパー・小売店】跡地に日常的な食材や日用品を買える店舗を誘致してほしい。
【子育て・福祉施設】小学生以下の子どもが遊べる屋内施設や、子育て支援センター、高齢者が集える場所が必要。
【交通・アクセス】車やバスなどの移動手段が不自由な人でも利用しやすい設計にしてほしい。

2. 賑わい・交流・観光拠点を求める意見
（中心市街地の回遊性を高め、若い世代や観光客を呼び込むための機能強化を求める声です。）

【賑わい施設】映画館、フードコート、キッチンカー、地場産品のマルシェ、イベントができるホール・ステージ。
【若者・チャレンジ拠点】若者が集まれる場所、スタートアップやチャレンジショップとしての利用、コワーキング的要素。
【交流機能】世代間交流や多文化共生スペース、市民団体が活用できる場所。

3. 防災・安全機能、および緑地化を求める意見
（災害時の安全性や、街の景観・環境整備を重視する声です。）

【防災拠点】避難所機能、防火水槽の設置、有事の際の駆け込み場所。
【緑地・広場】建物で埋めるのではなく、緑豊かな公園や広場にして、憩いの場として開放してほしい。
【環境改善】現在の廃墟化した状態（治安、景観）を早急に改善してほしい。

4. 建物の処遇・将来像に関する意見
（「残すか、解体するか」「財政負担をどう考えるか」といった行政の方針に対する意見です。）

【早期解体・更地化】老朽化や改修コストを懸念し、まずは解体して更地にした上でゼロベースで活用を考えるべき。
【持続可能性】「箱モノ」を作って終わるのではなく、ランニングコストや市民の負担を抑え、自走できる仕組みにしてほしい。
【歴史的価値】昭和のモダン建築としての価値（ファサードのみの保存など）を考慮しつつ、景観に調和したものを建ててほしい。
【広域視点】上野地区単体ではなく、市全体の人口動態や今後の年齢分布を考慮した、将来を見据えたまちづくりをしてほしい。